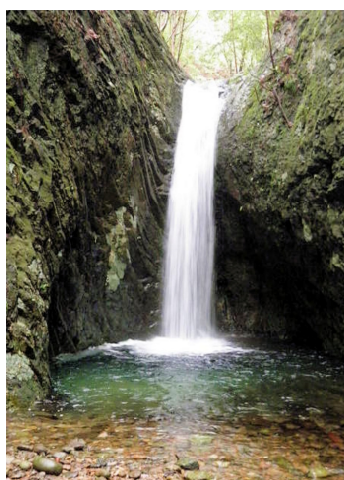


神田案内マップ

神田の自然と昔を伝える石祠・石塔など

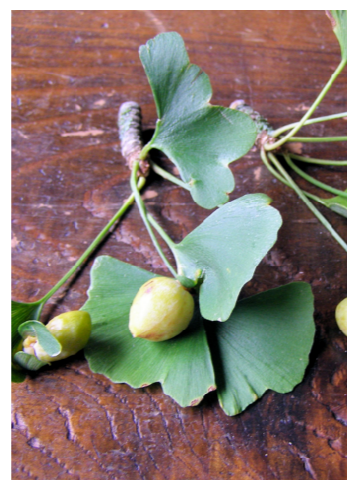
① 神田の三滝



下流から一の滝（不動滝）、二の滝、三の滝（牛滝）と続く。滝の高さは、いずれも10mに近い。

（町指定文化財）

③ 田代のオハツキイチョウ



葉にイチョウの実が付くのでこの名がある。町内では、名倉に1本あるが、県内でも数が少ない。9月下旬。

② 田代のヒメシャラ



幹周り約2.5m 樹高24mの落葉喬木。姿・形が秀れている。太さは全国級と言われる。

（町指定文化財）

④ 神田の黒梅



幹・枝が黒いためこの名で呼ばれる。紅梅の仲間。花の着きがよいことで知られる。3月下旬。

⑤ サルガタのウバヒガン



別名「江戸東」（えどあずま）とも。1本で山を覆う程の見事さである。早咲きの桜として有名。4月上旬。

⑥ 田代のミツマタ



和紙の原料として使われる。暮らしのために栽培・出荷していた。その名残が今の群生となっている。3月下旬。

⑦ 原の庚申塔



天和2年（1682）9月神田村とある。庚申塔としては珍しい像と言われる。約350年前のもの。

⑧ 神田最古の馬頭観世音



延享3年（1746）4月とあり、神田では最も古い馬頭観音である。約270年前のもの。

⑨ 田代の石仏群



子安観音・妻（塞）の神・弘法大師 栗嶋大明神（安産の神）など多数ある。往時の信仰の一端がわかる。

⑩ 弁天湊の石祠



長篠合戦で敗れた武將（武田方）の奥方が殺害され、片腕が流れ着いたという湊の上に建てられた供養の祠。